

平成 25 年度（第 1 回）あわら市スポーツ推進審議会会議録

平成 25 年 7 月 12 日（金）
午後 7 時 30 分～午後 8 時 35 分
あわら市役所 204 会議室

（会議日程）

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 議題
 - （1）国体中央競技団体正規視察報告について
 - （2）国体に向けた組織準備計画について
- 4 その他
- 5 閉会

（出席委員）

1. 吉江清治（会長） 2. 吉田昭博（副会長） 3. 戎 利光 4. 細川博治
5. 八木秀雄 6. 赤神芳幸 7. 林 清一郎 8. 大田秀美 9. 池羽田雅子
10. 中屋早苗 11. 吉川一郎 12. 城戸橋政雄

（委員以外の出席者）

教育長、スポーツ課長、同課長補佐、トリムパークかなづ所長

【 開 会 】

教育長 ～開会あいさつ～

【国体中央競技団体正規視察報告について】

委 員 1 ページの資料の中で各会場とも照度が低い、特に、金津高校は 3 分の 1 であるが、問題ないのか。

事務局 ここで国体を開催するなら目安は 1000 ルクス、悪くても 900 ルクスまではあげていただきたいということで、男子の部は、農業者トレーニングセンター、金津高校体育館それぞれ 1 コートずつを計画しているが、金津高校体育館の照度を上げるのが難しいのであれば、農業者トレーニングセンターが 630 ルクスあるので、こちらの照度をクリアさせて 2 コート使えば、金津高校を使わなくてもいいようになるので、その辺を検討するようにと伺っている。

委員 会場を決定するのはどこなのか。

事務局 あわら市と県バレーボール協会です。

委員 審議会としては、意見を述べることはできるのか。

事務局 審議会の中でご意見をいただき、県のバレーボール協会と話をするとき、審議会でこういった意見が出ていると言える。

委員 経費は全て県負担なのか。市の負担はあるのか。

事務局 市の負担。県からの補助はあるが。

委員 せっかく金津高校ですするなら、これを機会に施設整備するのもいいのではないか。今後のことも考えると、他の大会で使うこともある。国体だけのことならトレセンだけでもいいが。

事務局 学校で使用するのに 1,000 ルクスの明るさは、もったいないのではないかという話もある。

委員 学校の考え方で、必要に応じて使えばいい。国体だけでなく大きな大会がくれば、あわら市も潤う場合もある。こういう時にしかできないという。

委員 教育にお金をかけるのにもったいないはない。

委員 大会運営上、2会場の方がコンパクトにできるという考え方もできる。3会場にわければ、それだけボランティアの数も必要になる。もし1会場になるのなら、ボランティアの数もそこに集中させることができる。これから県のバレーボール協会が主体になってボランティアを集めることが必要になってくるだろうし、そういった点も検討した方がいい。

委員 1ページに女子トイレの数を増やすとあるが、どういう形式のトイレか。和式とか洋式か。

事務局 和式、洋式というより、仮設でもいいので、女子トイレがいつも混むので各会場とも女子トイレを増やして欲しいというのが視察の方の話であった。

委員 トイレを増やすということは手洗いも増やすことになる。

空調について、試合の合間に風を入れることで無くても良いとはどういう意味なのか。

委員 空調は無くてもいい。風を入れ替えることでオーケーということ。

委員 普通バドミントン競技だと、冷房を使用しないので、合間に窓を開けて空気をいれかえる。それでも可能だということ。

委員 警備本部があるが、そこに警備の方が駐在するだけで、荷物の検査もするのか。

事務局 警備員の動きについては、これから警備マニュアルを作る中で対応する。先程も言った盗撮とかなないように警備してもらおう。

委員 私もバレーボール協会の関係者なので、トリムパークのステージ側のポールをずらすという話だが、トリムパークは3コート取れるのが売り。国体が終わったら元に戻さないと3コート取れなくなるがどうするのか。それとも、新たに1メ

ートルずらした穴を設けるだけでいいのか。

事務局 県のバレーボール協会の話だと、無理に3面作るより2面、ある程度のスペースがあった方がいいということ。

委員 そうではなくて、普段3面使う試合もあるので、3面使えなくなるとバレーボール協会としては非常に大変なことになる。

委員 穴を増やすだけ。

委員 穴をずらすと言ったが。

事務局 穴を1つふやすだけ。

委員 元の3面には戻せるということか。

事務局 今6人制が3コート、9人制が2コート取れるようになっている。それでステージ側の9人制コートの中央側の支柱の穴を利用して、もう1個6人制のサイズに合わせた穴を作る。

委員 先程も会長から話があったように、バレーボール協会が中心になってやることになるが、できれば1会場の方が、運営上は非常にありがたい。倍スタッフも必要になるし、審判の回しも楽になる。1会場でできるものなら1会場でお願いしたい。

委員 県の協会もノータッチではないだろうが。

委員 勿論、審判は県の協会になる。

委員 スタッフの数を考えるといろいろあるかと思うが。

委員 基本的に審判は問題ないが、実際の運営スタッフの方は地元優先でということにたぶんなってくると思う。

委員 なるべく1つにまとめた方が運営はしやすいが、人に見せることを考えた場合に、2つの試合を見るよりも分散して、レベルの高い試合を見るということは学校教育の面から考えても大事なことで、地元の小学生が応援に来る。そういうことを考えると2会場あった方が、応援の児童が来た場合はいいのではないか。

委員 1日目は2会場使うが、2日目は1会場だけ。経費的に言うともったいない。

事務局 あわら市は成年の男子と女子だけ。少年の部は坂井市にお願いしている。

委員 金津高校の体育館を使うということは、1日目、平日になる。金津高校の通常の教育に支障が出てくる。

事務局 それを考えて体育館にだけ配置計画をしてある。

委員 いろんな選手達が、子供が通っている中、大会を行うというのは、金津高校にも迷惑がかかってくる。一般の人も入ってくるし、休校にするわけでもないでしょう。

事務局 大会当日は、休校にするか、登校して見学という形で終わるのか。補助員も出してもらわなければならない。また、国体となると3年生は少年の部の選手としていろんな種目に出る可能性もある。

- 会 長 実際問題、3倍程照度を上げようとするのとどれぐらいかかるのか。
- 委 員 練習会場は、小中学校の体育館を使用するという認識でいいのか。
- 事務局 練習会場として予定しているのは、トレセンで行う競技については、芦原中学校と芦原小学校。金津高校については、BG 体育館と金津中学校体育館。トリムパークは伊井小学校の体育館、伊井公民館の大講堂、坪江公民館の体育館、金津東小学校の体育館を予定している。一応準備をしておいて、チームからの要望でどこか使いたいということであればお貸しする。先程も言ったように天井の高さや照度についても規制はない。
- 会 長 2会場とするのか、1会場とするのかを決めて提言した方がいいのか。
- 事務局 ご意見を伺った方が、県のバレーボール協会と話すときに審議会からこういった意見があったと話がしやすい。いろんな意見を言っていただければ、参考意見として協会と話をしていきたい。
- 委 員 放送設備について、1面と2面とある場合、試合中の放送は禁止されているのか。
- 事務局 去年、視察に行った会場は1コートだったが、試合中の放送はあまりなかった。
- 委 員 放送を使った呼び出しはしない。常にくるくる動いているので。
- 委 員 救護室にはドクターが入るのか。
- 事務局 その辺の運営についてはこれから。
- 委 員 だいたいドクターがいる。
- 委 員 流れとしては、国体が始まるまで審議会が検討していくのか。それともある程度の段階でどこかに引き継ぐのか。
- 事務局 次の議題にもあるが、市役所の中に準備室を設けて、その後準備委員会とか、実行委員会を設けて、その中でねっていくことになる。
- 委 員 審議会の目的をしっかりとわきまえてやっていかななくてはならない。
- 会 長 今日は国体の議題になっているが、あわら市スポーツ全体を審議する会なので、よろしくをお願いします。
- 委 員 その他の中に安全対策マニュアル等の作成とあるが、これは宿泊、輸送に関するマニュアルも作成するのか。
- 事務局 輸送関係、宿泊に関しても全てマニュアルを作成する。

【国体に向けた準備計画について】

- 委 員 平成25年3月に、県準備委員会は立ち上がっているのか。
- 事務局 立ち上がっている。
- 委 員 あわら市は、26年度中に準備委員会なのか、27年度に準備委員会なのか。
- 事務局 準備委員会は、26年度中。

委員 26年度に準備室が立ち上げ、準備委員会を立ち上げ、実行委員会は27年度か。
事務局 実行委員会は、27年度。

委員 知的障害と精神障害はどう違うのか。

委員 知的障害は知能、精神障害は精神疾患。

事務局 どういう障害かは別として、選手の数もそうですが、それに伴う役員の数がとても必要になってくるので、結構大変だと聞いている。チーム数は、聴覚男子7チーム、聴覚女子7チーム、これは6ブロックそれぞれ1チームで、それに開催県が1チームで7チーム、精神についても6ブロックプラス開催県1チームの7チーム、選手は1チーム12名。

委員 実行委員会を立ち上げるのは、ある程度予算を持つてのことか。

事務局 先催県を見てみると実行委員会で予算を持つて、そちらでやっている。

委員 それは体協とかが中心になってやっているのか。

事務局 体協というよりは各種団体から、各部会になるとそれぞれの団体から出てくる、競技だけでなく、宿泊とか輸送とかそういうものもあるので、専門部会に入ってそれぞれの部会でやっていただくことになる。

委員 スポーツ推進審議会は、実行委員会を立ち上げて、その途中いろんな報告を受ける形になるのか。

事務局 まだ何も立ち上がっていないので、方向性はこれでいいかということでご意見をいただきますが、立ち上がって動き出したら事後報告という形で、今、こういうふうに動いているというようなこと、解散した後に、こういう状況でしたということで終わると思います。やはり、実行部隊の方に移してしまう。

委員 あわら市スポーツ審議会条例があり、その中で審議会の任務として7項目あり、それをここで審議し、教育委員会に建議するのがこの会。ただ、この中から実行委員会に入って活躍していただく、審議していただく方も出てくるかもしれない。

委員 市の実行委員会の中に県の協会も入るのか。競技の場合、主になるのはあわら市の協会なのか、県の協会なのか。

事務局 それは県の協会にも入ってもらう。

委員 カヌーのことを言うと、実際にそういう意思疎通がない。バレーのような大きな組織で坂井地区にも県で名の知れた人がいるが、カヌーはあわら市しかない。大会開催はいつもあわら市でやっているから多分心配はないと思うが、県の協会がどういう立場で入ってくるのか、いろいろ難しいところもあるから。

事務局 市の協会からも県の協会に後押ししていただいて。

それぞれの開催地の種目団体の財力や組織力で、県の協会に来てもらわなくても市で十分できるということであれば、県の協会から一部オブザーバー的に、中央団体との連絡窓口として、つなぎ役として入っていただく形で済むような市町もある。実際、20万人もいる市は自分のところで好きなようにやるというような

ところもあるし、マイナーなスポーツでとてもできない、県もしっかりやっってくださいというのもある。種目によってそれぞれ特徴があるので一概には言えない。

委員 石川県から借りなければならないかと心配。

事務局 おっしゃるとおり、役員が足りなければ北信越5県から、割り当てて動員したり、隣の県にお願いするのもあり。

委員 会場二つにするか一つにするかは、運営される方の意見を尊重すべきだと思う。

委員 会場決定はいつまでにしなければならないのか。

事務局 それはまだ聞いていない。

委員 審議会に諮問して決定するのでないなら、バレーボール協会が決めればいいのかを確認したかった。

事務局 バレーボール協会というより、開催市町と協会が協議のうえ決定すればいい。

【そ の 他】

審議案件なし

【閉 会】

会 長 質問がないようですので、会議を閉会します。

午後 8 時 35 分閉会